



令和 7

年度版

2025

知りたい！

ひと

まち

自然

印西の環境



令和7年度版 印西市環境白書 概要版

千葉県  
印西市



## 気候変動の影響への「適応」

温室効果ガスの増加に伴う気候変動により、猛暑による熱中症や、集中豪雨による水害の増加などの影響が出ています。

このような、すでに生じている気候変動の影響や、将来起こりうると予測される被害を回避・軽減させることを、気候変動への「適応」といいます。

気候変動対策は、温室効果ガスの排出を減らす「緩和」と、「適応」の両輪で取り組むことが重要です。



出典：気候変動適応情報プラットフォーム

### 印西市における「適応」の取組

- 熱中症に関する情報や対策方法などの発信
- クールシェア（涼み処として公共施設や商業施設を活用する取組）の推進
- 「印西市防災ポータルサイト」での防災情報の発信
- 高温に伴う農作物等の被害防止と技術対策に関する情報提供など

#### ◇ 印西市防災ポータルサイト

ハザードマップ、避難場所、防災総合ガイドブック、防災や災害時に役立つ情報を掲載しています。



### 一人ひとりが取り組める「適応」

#### 知ろう！

- 気候変動への適応について学ぶ

#### ◇ 気候変動適応情報プラットフォーム (A-PLAT)

気候変動適応に関する情報、統計データ、個人として取り組むことができる事例などが掲載されています。



#### 行動しよう！

- 熱中症や感染症への予防対策
- 大雨や洪水などの情報に注意する
- ハザードマップや避難経路を確認する
- 災害時に備えて食料品などを備蓄する



#### 参加しよう！

- 環境に関するイベントなどに参加する
- システムを活用して、身近な生きものや自然環境の情報共有に努める

#### ◇ いきものログ（環境省自然環境局 生物多様性センター）

様々な組織や個人が持っている生きもの情報を集積し、共有するシステムです。ユーザー登録をすると、報告や調査に参加できます。



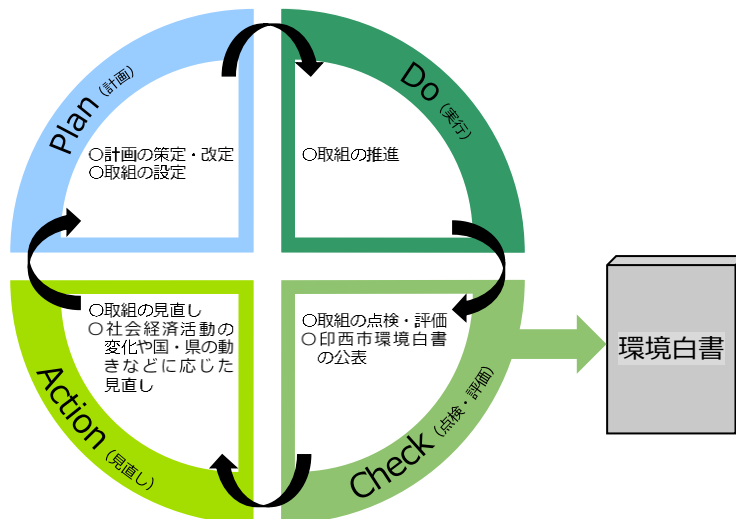
図出典：気候変動適応情報プラットフォーム

内容：気候変動適応についてのスライド集（気候変動適応情報プラットフォーム）をもとに作成  
(<https://adaptation-platform.nies.go.jp/tools/presentation.html>)

## 位置づけ

印西市環境白書は、環境基本計画と庁内エコプランの年度ごとの取り組み状況や目標の達成状況の報告書として、市民の皆様公表するものです。また、各種の測定データなどの市の環境に関する情報をとりまとめたデータ集として、広く周知するものです。

令和7（2025）年度版の環境白書は、主に令和6（2024）年度の実績に基づき、作成しています。



## 第3次印西市環境基本計画に掲げる「将来環境像」と達成のための「5つの基本目標」

## 将来環境像

みんなで作る 自然と暮らしが調和した  
快適でやさしいまち いんざい

|                  |                                     |          |
|------------------|-------------------------------------|----------|
| 基本目標1<br>【自然環境】  | 豊かな自然の恵みを受け<br>潤いと安らぎを感じられるまちづくり    | ・・・2ページ  |
| 基本目標2<br>【生活環境】  | 安心で快適な<br>ずっと住みたいと思えるまちづくり          | ・・・4ページ  |
| 基本目標3<br>【循環型社会】 | 限りある資源を有効に活用した<br>持続可能な美しいまちづくり     | ・・・6ページ  |
| 基本目標4<br>【脱炭素社会】 | カーボンニュートラルの実現に向けた<br>地球環境にやさしいまちづくり | ・・・8ページ  |
| 基本目標5<br>【人づくり】  | パートナーシップを構築し<br>協働で環境保全に取り組むまちづくり   | ・・・10ページ |

※第3次印西市環境基本計画は令和4（2022）年度から令和13（2031）年度までを計画期間としています。



# 基本目標 1

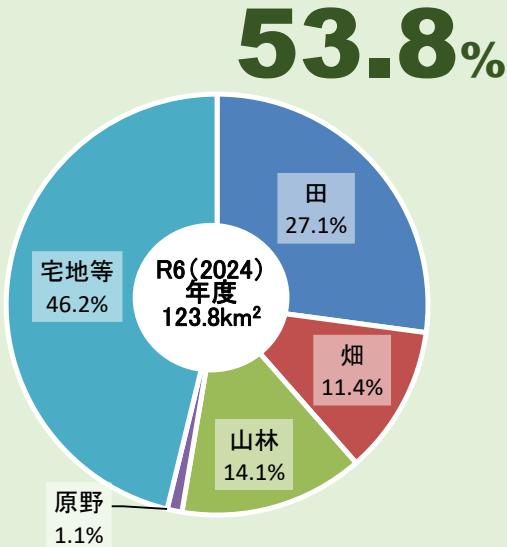
## 豊かな自然の恵みを受け

## 潤いと安らぎを感じられるまちづくり

### 谷津と台地を中心とした里山の保全

本市は農地や樹林地が多く、里山の緑に恵まれています。宅地開発や農家の後継者不足などによる緑の減少が心配されています。

#### ● 田、畑、山林、原野の割合



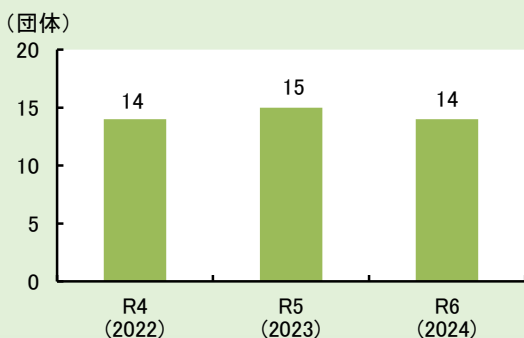
### ● 樹林地・斜面林の保全

市内には、人と自然との長年の関わり合いによって形成されてきた里山や谷津が多く残されています。これらの里山は、樹林地・田畑・草地・水辺などいろいろな環境が混ざりあって、豊かな生態系を育む場としても注目されています。

市では、市民参加による里山保全活動の充実を図るため、市民活動団体が実施する里山関連の行事を支援しています。

令和6(2024)年度の市内の里山保全活動団体数は14団体、市が実施した里山保全回数は18回でした。

#### ● 里山保全活動団体数の推移



### ● 農地の保全

農業は本市の主要産業であり、季節ごとの田園風景は市を代表する景観を形作っています。

本市の農産物を市内で消費する地産地消を推進するため、市内の農作物直売所等に対して、販売促進に係る資材費の補助金交付を行いました。



▲ 農産物の地産地消を推進しています

### 生きものの生息・生育空間の保全

#### ● 生きものの生息・生育空間の把握

市内には、絶滅が危惧されている重要な種(注目種)を含む植物967種、動物892種が確認されています。しかし近年では、カミツキガメなど、在来生物の生息・生育を脅かす恐れのある「特定外来生物」の占める割合が高まっています。



#### ● 生きものの確認種数

| 分類群 |     | 確認種数(注目種) |      |
|-----|-----|-----------|------|
| 植物  |     | 967       | (55) |
| 動物  | 哺乳類 | 10        | (2)  |
|     | 鳥類  | 100       | (48) |
|     | 爬虫類 | 12        | (10) |
|     | 両生類 | 8         | (5)  |
|     | 昆虫類 | 737       | (39) |
|     | 魚類  | 25        | (7)  |

令和2(2020)年度自然環境調査(5年ごとに実施)

## ●多様な生態系の保全

「いんざい自然探訪」は、子どもから大人まで楽しみながら環境を学ぶことができる自然観察会です。令和6（2024）年度は3回開催し、参加者数は延べ47人となりました。

また、NPO 団体との協働により、「子ども里山学校」を3回開催しました。



▲ いんざい自然探訪

## ●水辺環境の保全

市では、水辺とのふれあいの機会を提供するため、県や流域市町と協力して水辺環境保全のためのイベントや河川の清掃活動を実施しています。

令和6（2024）年度は、手賀沼周辺において、市民とともに湧水調査、河川の水質・水生生物調査、ナガエツルノゲイトウの駆除を実施し、市民の皆様とともに良好な水辺環境の維持に努めました。



▲ 市民との協働で手賀沼周辺の湧水調査・河川水質調査を実施

## 暮らしと自然のつながりの確保

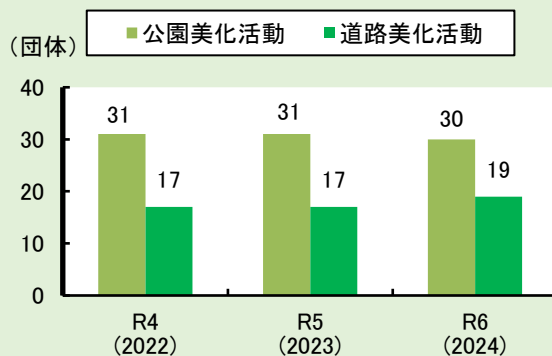
### ●自然と調和したまちづくり

市では、公園美化活動を行う団体に対し、清掃用具・花苗・種子などを支給し、活動を支援しています。令和6（2024）年度の公園美化活動の団体数は30団体となりました。

また、道路などを管理する団体に対し、除草・清掃に必要な用具の貸与や、ごみ袋・花種・花苗などを支給し、活動を支援しています。令和6（2024）年度の道路美化活動の団体数は19団体となりました。

●公園美化活動の団体数 ●道路美化活動の団体数

**30** 団体 **19** 団体



### ●歴史・文化の保全

市では、郷土伝統文化の継承・公開や、史跡整備・活用事業などを通じて郷土意識の醸成を図り、社寺やその周辺に残る社寺林・屋敷林など本市特有の風景の保全に努めています。

市及び教育委員会では、貴重な文化財を火災などの災害から守るため、毎年、文化財防火デーに合わせて訓練を実施しています。令和6（2024）年度は、宝珠院観音堂（小倉）にて文化財防災訓練を実施しました。

### 緑や水辺を守り、自然と共生するために…

- 観察会や勉強会などを通じて里山の現状や保全について理解し、維持管理活動に参加します。
- 低農薬や有機農業で栽培された農作物や地産地消を取り入れ、市内の農業を応援します。
- 生きものの生息環境の理解と保全に努め、むやみに生きものを傷つけません。
- 家庭で飼っている生きものや植物を自然界に放したり、植えたりしません。
- まちに調和した景観保全活動に積極的に参加します。

アクション！



# 安心で快適な

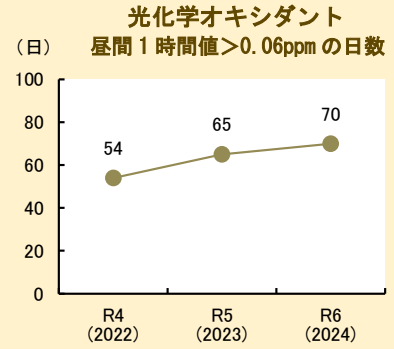
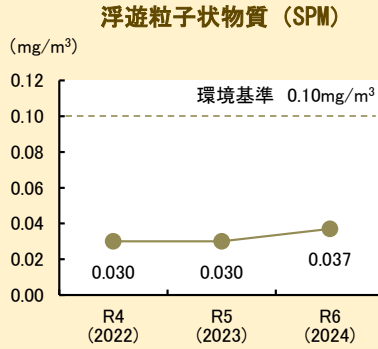
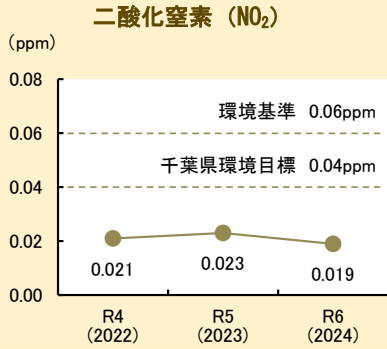
# ずっと住み続けたいと思えるまちづくり

## 良好な生活環境の保全

### ●大気環境の保全

● 大気汚染物質濃度（高花測定局）

光化学オキシダント  
環境基準超過日数 **70** 日



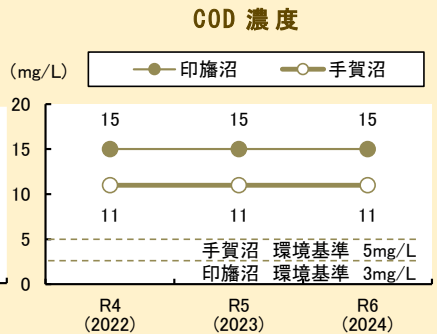
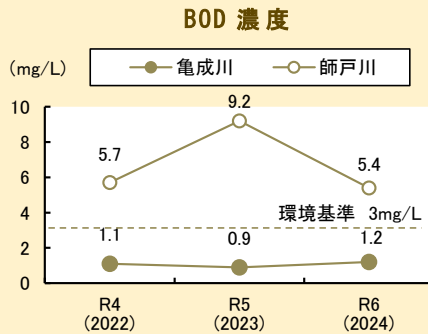
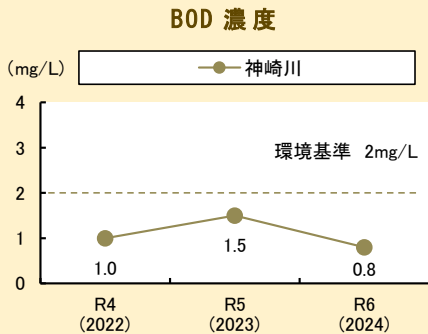
千葉県が設置する一般環境大気測定局（高花地区）では、大気質の測定を実施しています。二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）や浮遊粒子状物質（SPM）は環境基準を達成している一方、光化学オキシダントは環境基準を達成していません。

市では、大気汚染の原因の一つである自動車からの排出ガスを抑制するため、環境にやさしい運転「エコドライブ」やアイドリングストップについて、ホームページを通じて普及啓発に努めています。

### ●水・土壌環境の保全

● 河川のBOD濃度  
湖沼のCOD濃度

## 師戸川・印旛沼・手賀沼で環境基準を超過



河川のBOD濃度は、市が実施した水質測定の結果を示しています。水質汚濁防止法の規定に基づく、公共用水域の水質測定点とは異なります。師戸川の計測地点は、河川法における河川ではありません。

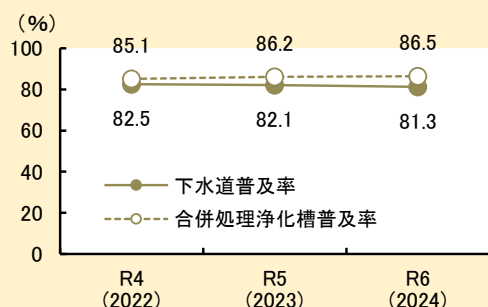
市では、市内9河川で年4回の水質測定を実施しています。このうち、神崎川と亀成川のBOD濃度は目標を達成したものの、師戸川は目標を達成できませんでした。また、印旛沼と手賀沼の水質は依然としてCOD濃度が環境基準値を超過しています。

水質改善のために、公共下水道の整備や整備済み地区の水洗化、合併処理浄化槽の設置補助に取り組むとともに、関係機関と連携を図りながら、改善に努めています。

● 下水道普及率

● 合併処理浄化槽普及率

# 81.3% 86.5%

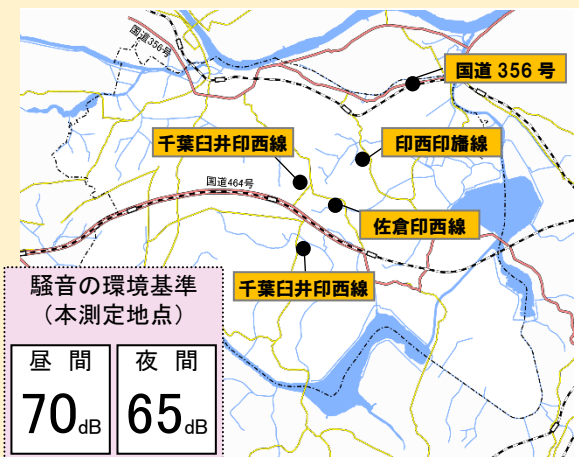


## ●騒音・振動・悪臭の防止

市では、主要幹線道路において定期的に道路交通騒音の調査を実施しています。

令和6(2024)年度の道路交通騒音の測定地点は、国道356号、(主)千葉臼井印西線(2地点)、(主)佐倉印西線、(一)印西印旛線の5地点を対象として実施しました。その結果、全地点において環境基準を達成しました。

### ● 道路交通騒音の測定地点



調査全地点で環境基準値を達成したよ！



印西市環境キャラクター  
エコネ



定期的に空間線量率 ▶  
を測定しています

## 有害化学物質対策の推進

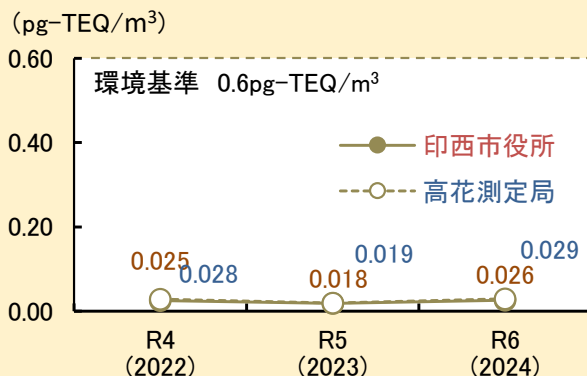
私たちの生活は様々な化学物質に囲まれています。これらの化学物質は暮らしを便利で快適にする一方、適切に管理されないことで人の健康や動植物に悪影響を及ぼすものや、廃棄物の焼却過程などでダイオキシン類を発生させる有害なものもあります。

### ●有害化学物質の適正管理

市では、大気中のダイオキシン類濃度を定期的に調査しており、令和6(2024)年度はいずれも環境基準を達成しました。

#### ● 大気中のダイオキシン類濃度

### 環境基準達成



### ●放射性物質に対する安全・安心の確保

市では、東日本大震災以降、公共施設などで空間線量率の測定を行い、その結果を広報や市のホームページなどで公表しています。

空間線量率は年々低下しており、令和6(2024)年度は、測定を行った193箇所すべてにおいて、国の基準値(0.23 $\mu$ Sv/h)を超える箇所はありませんでした。

アクション！

### 環境に負荷を与えず、安全・安心に暮らすために・・・

- 食器等を洗う際には、洗う前に油分や汚れをふき取り、汚水を出さないように努めます。
- 環境にやさしい石鹼や洗剤を使用し、適量を心がけます。
- ピアノ、カラオケの使用やペットの鳴き声、照明の使用など、近隣に配慮します。
- 除草剤はなるべく使用せず、殺虫剤・殺菌剤も必要以上に使用しません。

## 不法投棄やポイ捨ての 抑制・防止対策の推進

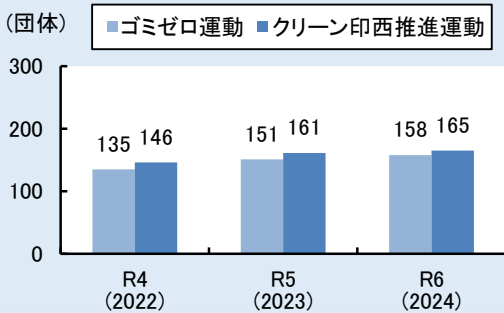
### ●環境美化活動の推進

市では、環境美化意識の向上を図るため、市民団体や事業者と協力して、年1回の「ゴミゼロ運動」や毎月1回の「クリーン印西推進運動」などを実施しています。ゴミゼロ運動は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い令和2(2020)・3(2021)年度は中止となりましたが、令和4(2022)年度から再開しました。

令和6(2024)年度の参加団体数は延べ323団体、参加者は延べ33,144人、回収されたごみは合計31,502kgとなりました。

### ●環境美化活動の参加団体数 ゴミゼロ運動      クリーン印西推進運動

**158** 団体 **165** 団体



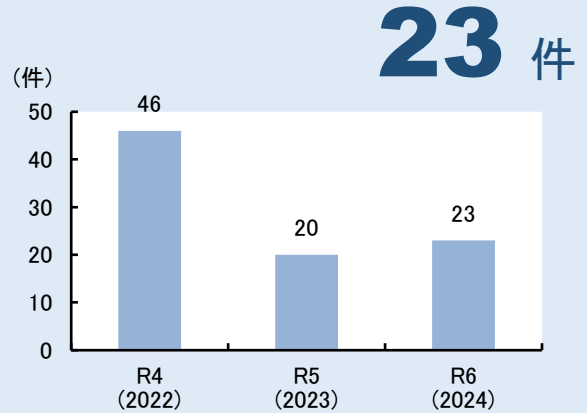
▲ クリーン印西推進運動を実施

個人のモラルに関わる問題でもあるポイ捨てについて、市では、歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例の適正な運用を図り、環境美化意識の向上を図っています。

令和6(2024)年度は、重点区域での啓発やパトロールを実施し、禁止行為の指導件数は89件、過料件数は0件でした。

### ●不法投棄の未然防止

#### ●市民からの不法投棄通報件数



令和6(2024)年度に市が把握した不法投棄確認件数は73件で、そのうち23件は市民からの通報によるものでした。市民の皆様による監視の目が**不法投棄の抑止・発見**につながっています。

内訳をみると、家電製品が最も多く(21件)、自動車・自動車部品・タイヤ、家具なども多くなっています。

市では、パトロールの実施や監視カメラの設置により、不法投棄の防止に努めています。

#### < 令和6(2024)年度の 不法投棄物内訳 >

- 1位 家電製品・・・・・・・・・・21件
- 2位 自動車・自動車部品・  
タイヤ・・・・・・・・・・17件
- 3位 家具・・・・・・・・・・9件

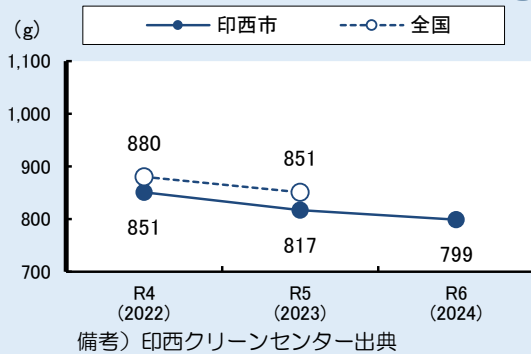


▲ 監視カメラの設置を強化しています

## 3Rの推進

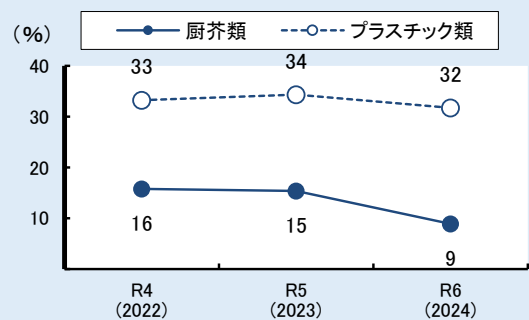
### ● 1人1日当たりのごみ排出量

**799g**



### ● ごみ質分析結果 (乾燥重量比)

厨芥類 **9%** プラスチック類 **32%**



備考) 印西クリーンセンターにおいて測定した燃やすごみの乾燥重量比を示しています。

令和6(2024)年度の1人1日当たりのごみ排出量は799gであり、前年度の817gから18g減しました。ごみ質分析結果をみると、厨芥類は8.9%、プラスチック類は31.7%を占めています。

### ● ごみの発生抑制

ごみの資源化や適正処理も重要ですが、最も優先されるべき取り組みは「ごみを出さないこと」です。

市では食品ロス削減のため、広報や食品ロス削減協力店の募集、フードドライブ事業の周知協力を行いました。

また、家庭ごみの減量化を推進するため、生ごみ処理容器等購入費補助金事業や廃棄物減量機器貸出事業を実施しています。

### ● ごみの分別・リユース・リサイクル

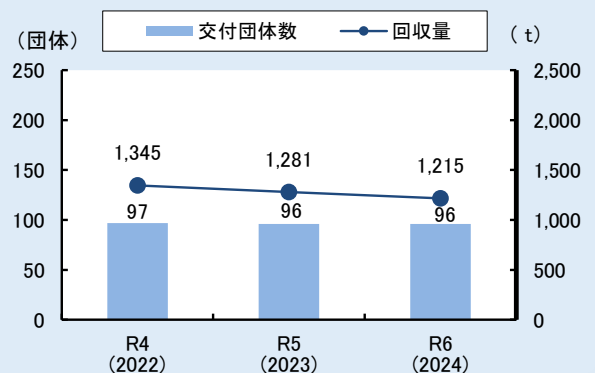
令和6(2024)年度は、ごみ減量化等説明会を13回(387人)開催しました。

また、「ごみ・リサイクル施設見学会」「いんざい環境フェスタ」を開催し、ごみ減量化・リサイクルに関する学習機会を提供しました。

市では、資源として再利用できる有価物を集団で回収している町内会や子ども会、高齢者クラブ

などの団体に対し、支援を実施しています。令和6(2024)年度の有価物集団回収の登録団体数は96団体、回収量は1,215tとなりました。

### ● 有価物集団回収交付団体数と回収量



ごみ減量化等説明会を実施



アクション!

### 美しく、快適なまちにするために…

- 「ゴミゼロ運動」「クリーン印西推進運動」など地域の清掃活動に積極的に参加します。
- 不要な商品を購入しないよう努め、商品をできる限り長く使用します。
- 過剰包装を断り、詰め替え製品などのごみの出にくい製品を購入します。

## 温室効果ガスの排出抑制

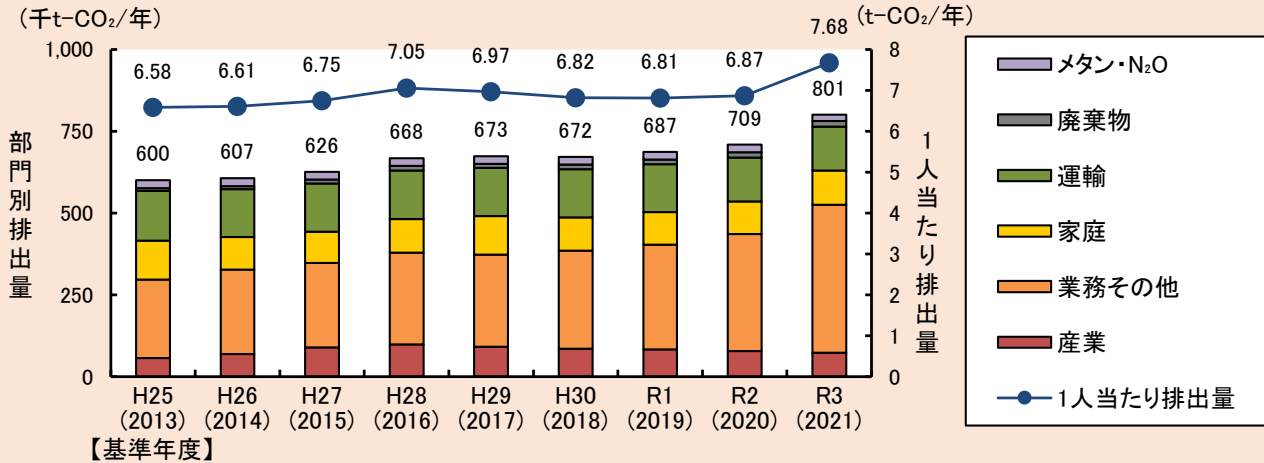
● 年間温室効果ガス排出量（令和 3（2021）年度）

市域の排出量

**801 千 t-CO<sub>2</sub>**

市民 1人当たり

**7.68t-CO<sub>2</sub>**



印西市域における令和 3（2021）年度の温室効果ガス排出量は、合計で 800.9 千 t-CO<sub>2</sub> となり、基準年度（平成 25（2013）年度）値と比較して増加しました。1 人当たりの排出量は、7.68 t-CO<sub>2</sub>/人となっています。

本市の温室効果ガス排出量を部門別にみると、業務その他部門の排出量が最も多く、全体の約 5 割を占めています。業務その他部門に次いで運輸部門、家庭部門の排出量が多くなっています。

### ●省エネルギーの推進

市では、広報やホームページを利用して、環境家計簿の普及に努めました。環境家計簿は、家庭における光熱費やエネルギーの使用状況を把握することで家庭から排出される二酸化炭素量をチェックし、**省エネ意識**を育むものです。

また、地球温暖化防止に向け、住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金を通じて、家庭における省エネルギー設備などの導入促進を図っています。令和 6（2024）年度の補助件数は 250 件でした。

### ●再生可能エネルギーの利用促進

令和 5（2023）年度における市の**再生可能エネルギー**の導入容量累積は、太陽光発電（10kW 未満）が 26,186kW、太陽光発電（10kW 以上）が 79,960kW であり、増加傾向にあります。

市では、県による太陽光発電設備・蓄電池共同購入支援事業の広報支援を行い、再生可能エネルギーの導入促進を図りました。

### ●環境に配慮したまちづくりの推進

令和 6（2024）年度は、ふれあいバス 6 ルートを運行し、ふれあいバス利用者は、基準年度（令和元（2019）年度）を上回りました。

また、公共交通の利用促進に向けて、市内全域を網羅した印西市総合公共交通マップを作成しました。



▲ 公共交通の利用促進が二酸化炭素の排出抑制につながります

## 気候変動への適応

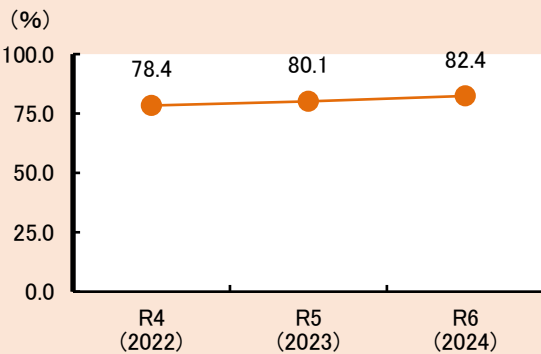
### ●気候変動の影響への対策

市では、自主防災組織の結成促進や、さらなる活動の充実のため、広報やホームページを通じて防災情報を提供するとともに、転入者・希望者にはハザードマップを配布しました。

令和6(2024)年度の自主防災組織新規結成数は2組織となりました。

また、広報やホームページなどで、熱中症の注意喚起や、熱中症対策に関する情報提供を行いました。

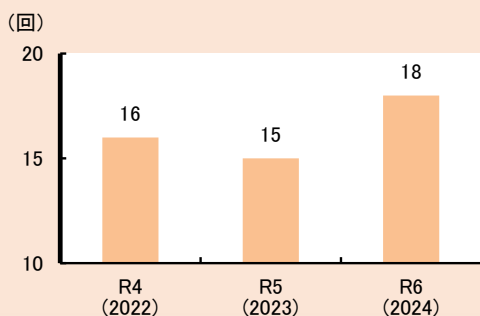
#### ●自主防災組織活動カバー率



### ●気候変動の影響に対する理解促進

市では、市域における気候変動の影響について、継続して情報収集し、市民・事業者への情報提供に努めています。令和6(2024)年度の気候変動適応に関する情報提供回数は18回となりました。

#### ●気候変動の適応に関する情報提供回数



## 市の率先行動の推進

市では、庁内エコプラン(地球温暖化対策実行計画)に沿って、公共施設におけるLED照明の導入などに取り組んでいます。市が率先して脱炭素社会の実現に向けた取組を実施することで、市全体のエネルギー消費量削減を図っていきます。

### ●公共施設における脱炭素化の推進

市の施設では、再生可能エネルギー設備の率行的な導入を推進しており、市役所本庁舎(10kW)、松山下公園総合体育館(10kW)、大森小学校(10kW)、内野小学校(20kW)、牧の原小学校(45kW)、高齢者就労支援センター(10kW)、内野保育園(10kW)、高花学校給食センター(10.5kW)、そうふけふれあいの里(33kW)に太陽光発電設備を設置しています。

今後も、公共施設の新築時や大規模改修時における再生可能エネルギー設備の新規導入を推進していきます。

市内公共施設に設置された太陽光発電設備



### ●エコオフィスの推進

庁内エコプランに基づき、市職員に対する省エネルギーの取組の周知徹底を図りました。

令和6(2024)年度は庁内エネルギー管理講習を1回実施し、職員の意識醸成を図りました。

公用車の購入にあたっては、次世代自動車をはじめとする環境性能に優れた自動車の導入に努めました。

アクション!

### 地球環境を守るために・・・

- 「環境家計簿」などを通して電気、ガス、水道、ガソリンなどの省エネルギーに努めます。
- 太陽光発電システム・蓄電システムなどの再生可能エネルギー設備の導入を検討します。
- 外出の際には徒歩や自転車、公共交通機関を利用し、自家用車の利用は控えます。

## 自ら学び行動する人づくりの推進

様々な環境問題の解決に向けた第一歩は、一人ひとりが環境の現状を知り、日常生活との関わりを認識することです。

市では、市民・事業者が地域の環境や環境保全活動に関心を持てるよう、環境講座・各種イベントを通じて普及啓発を行っています。

### ●環境学習の場と機会の創出

将来の印西市を担う子ども達への環境教育の推進を図るため、教育センターでは環境に関する講座を実施しています。令和6(2024)年度は、オンライン科学実験教室を実施しました。

小中学校の図書室では、環境教育に関する蔵書の紹介や活用に関する支援を行いました。

市では、市民の学習ニーズや年齢層に合わせて、環境をテーマとする市民アカデミーや出前講座の実施を推進しています。



▲ 中央公民館の主催で「利根川講座」を実施

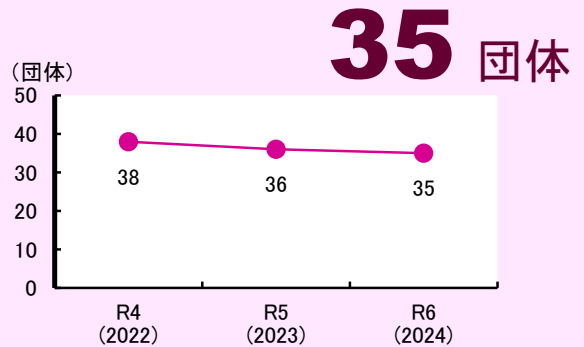
## 環境配慮行動の推進

### ●各主体における環境配慮行動の推進・各主体間の連携促進

市民・事業者・市が協働し、様々な立場から意見交換をする場として、印西市環境推進会議を設置しています。

令和6(2024)年度は環境推進会議(市民会議)を5回、環境推進会議(事業者会議)を2回開催し、「いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050」に関する意見などをいただきました。

### ●環境活動団体数



市内で活動している環境活動団体数は35団体となりました。

今後も、環境保全活動に取り組むNPO・市民活動団体などを積極的に支援するとともに、様々な主体の連携を図っていきます。

アクション!

### みんなで環境を育てるために…

- 環境に関する講演会や体験会、見学会などに積極的に参加し、環境の現状を理解し学びます。
- 環境に関して得た情報を家族や友人と話し合い、実践につなげます。
- 環境保全を図るNPOなどの市民活動団体に積極的に参加します。

### もっと!知りたい人は

「令和7年度版 印西市環境白書 本編」  
「第3次印西市環境基本計画」もご覧ください。

### 行動してみたい人は

「印西市環境行動指針」

日常生活の中の環境配慮行動を掲載しています。

### 「広報いんざい」

環境に関するイベントや講座開催をお知らせしています。

令和7年度版 印西市環境白書(概要版)  
令和8(2026)年3月発行

発行:印西市 環境経済部 環境保全課  
〒270-1396

千葉県印西市大森 2364-2

TEL:0476-33-4491

<https://www.city.inzai.lg.jp/>

